

西村山地区で協定締結

山形中央協組 山形庄送協会 連携し災害支援

山形中央生コンクリート協同組合（成田潔理事長）と山形県コンクリート庄送協会（佐藤隆彦会長）は10日、山形中央協組の事務所で西村山広域行政事務組合（寒河江市など1市4町）と「災害時ににおける消防活動等の応援に関する協定」を締結した。

リフトポンプ車で給水や放水の連携を行うことを想定し、17年に山形市、18年に天童市、3月に上山市と同様の

協定をそれぞれ締結している。今回が4例目。山形中央協組エリア内では全ての消防組合と協定を締結した。



左から成田理事長、佐藤消防長、佐藤会長

調印式のあいさつで佐藤知消防長は「大規模災害時の水利確保が可能となり、大変心強い。有事の際には協定をもとに応援していきたい」とした。

寒河江市内にある。ミキサ車は約100台保有しており、万一の際は庄送組合と連携し、消防活動に協力したい」と応えた。佐藤会長は水利の確保だけでなく、「放水や給水も有効となる。生コン組合と連携し、有事に備えた」とした。